

地域医療連携だより

■血管外科からのご案内

バスキュラーアクセス治療について

■透析患者さんの適切な管理を

透析患者さんは年々増加の一途を辿っており、その適切な管理については重要な問題となっております。

当院では内シャント（自家静脈、人工血管）の造設、血管内治療（バルーン拡張、drug coating balloon、ステントグラフト）、動脈表在化、長期留置カテーテルなどの処置が可能です。

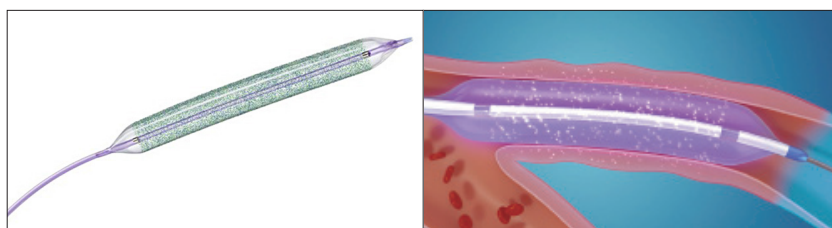
■ステントグラフト & Drug Coating Balloon

その中でも 2021 年からは人工血管シャント狭窄に対してステントグラフト（写真 1）の使用が、また再狭窄を繰り返すような自家静脈シャントについては Drug Coating Balloon（写真 2）の使用が可能となりました。いずれも施設基準、術者基準が必要な治療ではありますが当院では条件を満たしており使用可能となっております。さらに患者さんにとってベストな治療を提供できるように心掛けて行きたいと思っております。

血管外科・梅田有史



【写真 1】
ゴア® バイアバーン®
ステントグラフト



【写真 2】
IN.PACT™ AV
薬剤コーティングバルーンカテーテル

■血管外科 外来担当表

行田クリニック 1F		月	火	水	木	金	土
午前	3 診			梅田	手術	梅田	梅田
午後	3 診		梅田		手術		

■上記に関するお問合せについては、地域医療連携室 TEL.048-564-2537 までお願いいたします。